



a.江戸時代からの歴史を伝える町並みは、1982年に「重要伝統的建造物群保存地区」に指定。風情ある景観を保ち続けている。

羽田空港から行ってみた <<< 広島県竹原市

かぐや姫伝説の残る安芸の小京都

竹のパワーで、 町おこしし竹原物語

江戸時代の町並みが今も残る竹原。
住む人、訪れる人、誰もが心和むその風景は、時代を超えたぬくもりにあふれている。
ここでは竹に親しみ育った人々が、竹を生かした町づくりに取り組んでいる。

時代をタイムスリップする 白壁と格子模様の風景

J・R竹原駅前から続く大通りを
それ、狭い通りへと入ると、歴史
を感じさせる古い町並みが突然姿
を現す。京都の下鴨神社の荘園
地として開墾され、江戸時代に製塩
業で栄えた竹原は、かぐや姫にもゆ
かりのあるロマン漂う町だ。

かつての豪商の屋敷や蔵が残り、
その風景は「安芸の小京都」と呼ば
れている。電柱を排除した通りは、
石畳の道までもがその景観の一部
となり、当時の豪商たちが贅を競い
合った軒先の出窓と一体となり美し
さをつくり出している。



b.意匠を凝らした出窓は、「竹原格子」と呼ばれる。風雨にさらされあめ色になった姿が独特の空気を醸し出している。

c.格子戸に挟まれた路地は通学路。静かな町に小学生のにぎやかな声が響く。

d.京都の清水寺を模したという西方寺の観音堂。ここから竹原の町並みを一望できる。

e.ニッカウキスキーの創業者・竹鶴政孝氏の生家「竹鶴酒造」。併設の資料館では試飲ができ、散策の休憩にも便利。(土・日・祝日のみ開館)



羽田空港から広島空港へは、JAL・ANA
合わせて1日15便運航。竹原市内へは車
で約20分。